

福岡市相撲連盟

【設立年月日】

1963（昭38）年4月

【加盟年月日】

1964（昭39）年4月

【歴代会長】

1963（昭38）年 大神 健太郎

1987（昭62）年 井上 雅 實

2003（平15）年 井上 貴 博

【歴代理事長】

1965（昭40）年 竹 田 一 二 三

1967（昭42）年 三 宅 邦 彦

1970（昭45）年 大 穂 利 八

1976（昭51）年 藤 原 富 造

1985（昭60）年 中 牟 田 勝 弘

1986（昭61）年 西 際 康 雄

2001（平13）年 森 和 人

2003（平15）年 吉 岡 勝 人

2011（平23）年 山 内 司

【沿革】

福岡市相撲連盟は、1963（昭38）年、「アマチュア相撲道の健全なる普及発展と相撲道を通じて次世代を担う青少年の健全育成を図り、地域に貢献する」ことを目的とし設立され、住吉神社相撲場で記念すべき第1回福岡地区青年相撲大会を開催いたしました。以来、1964（昭和39）年の福岡県民体育大会を皮切りに、国民体育大会福岡県予選などの各種大会において輝かしい成績を収め、全国大会へと進み福岡市相撲連盟の名声を残してきました。

地域におきましては、1979（昭54）年の福岡市制90周年記念市民総合スポーツ大会では、第1回市民体育大会相撲大会を住吉神社相撲場で小学生の部、青年一般の部を開催し、現在は、福岡市市民総合スポーツ大会として、青少年健全育成を目指して継続しております。

この他にも、太宰府天満宮奉納相撲大会や住吉神社名越大祭奉納相撲大会、福岡県少年

相撲大会、クラブ対抗少年相撲久山大会では毎年上位に入賞し、全九州各県対抗青年相撲選手権大会や全日本青年相撲選手権大会に福岡県代表として、当連盟の選手が選ばれた実績もあります。

【現在の活動】

福岡市相撲連盟では、年間行事として、住吉神社名越大祭奉納相撲大会・奉納赤ちゃん土俵入り、福岡市民総合スポーツ大会少年相撲大会を主催しています。奉納赤ちゃん土俵入りは、毎年600名近くの応募があり、大変な賑わいを見せております。

相撲の競技人口が減少する中、国技・相撲道の精神を幅広く認識していただくために、住吉神社横綱奉納土俵入りを日本相撲協会の公式行事として復活させる再誘致活動を行い、2008（平20）年11月に44年ぶりに復活いたしました。

その他、地域における子ども相撲大会のお世話や、次世代を担う青少年の健全育成事業に参画することにより、幅広い世代へ向け、相撲の普及活動に努めています。



住吉神社奉納赤ちゃん土俵入り